

「The Suicidal Affect-Behavior-Cognition Scale (SABCS); 自殺に関する感情・行動・認知スケール日本語版の妥当性・信頼性についての検証」

- **本研究の意義**

日本では過去3年間自殺者数が3万人を割るようになりましたが、いまだ自殺が若者の死因の第一位です。このため適切に自殺リスクを評価することが重要です。これまで使われてきたリスク評価検査は質問項目が多く、簡便に行うことが困難でした。

そのような中、Harris らが自殺リスクを適切かつ簡便に評価する目的で、6項目からなる The Suicidal Affect-Behavior-Cognition Scale (SABCS)を2015年に発表しました。筑波大学精神医学グループと茨城県立こころの医療センター臨床研究部は、共同でこのSABCSの日本語訳を行いました。現在、筑波大学附属病院精神神経科では、自殺のリスクを評価するため、精神神経科病棟に入院した全患者に対しSABCSを実施しています。他の心理検査との比較などを行うことで、この日本語版検査の妥当性と信頼性を評価することで、幅広くこの心理検査を使用してもらえるようになると考えています。

- **本研究の目的**

当科に入院した患者さんのSABCSやうつ病の評価尺度(Quick inventory of depressive symptomatology (self-report) Japanese edition; QIDS-SR-J)の結果、実際の自殺行動などとの関連を検討します。

- **研究の方法**

- **対象**

2016年4月以降、2017年3月までに当院当科に入院した方々のうちSABCSを実施した方を対象とします。

- **調査項目**

入院時年齢、性別、入退院日、入院回数、ICD10国際疾病分類における診断、検査結果(SABCS、QIDS-SR-J)、検査日、自殺リスク、今回経過中の自殺行動、自殺企図歴

- **研究機関・研究者名**

筑波大学医学医療系 准教授 太刀川弘和がこの研究を行います。

- **個人情報に関する利用目的**

本研究で取り扱う個人情報は、本研究の解析目的にのみ使用し、それ以外には用いません。また、研究結果を学会・論文発表する際には個人を該当できる情報は用いません。なお、本研究への参加を希望しない場合はご連絡ください。

- **個人情報の開示手続きおよびお問い合わせ**

本研究に関する問い合わせがございましたら、

筑波大学医学医療系精神医学

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2 丁目 1 番地 1

電話:029-853-3343 (筑波大学医学医療系精神医学 太刀川研究室)

(平日 9 : 00-17 : 00)

精神神経科 准教授 太刀川弘和に、ご連絡くださいますようお願いいたします。